



今月の表紙：皮質性小脳萎縮症は、病理学的に小脳皮質と下オリーブ核の限局的な神経変性を特徴とする。臨床的には孤発性、遅発性の比較的に純粋な小脳失調症である。

特集

皮質性小脳萎縮症への アプローチ

- 923 皮質性小脳萎縮症の歴史と分類，新たな診断基準 吉田邦広
- 931 孤発性小脳性運動失調症 — multiple system atrophy と mono system atrophy 渡辺宏久，他
- 939 皮質性小脳萎縮症の病理 古賀俊輔
- 947 遺伝性疾患の立場からのアプローチ 高橋祐二
- 961 自己免疫性小脳性運動失調症からのアプローチ 吉倉延亮，他
- 969 特発性小脳失調症との鑑別を要する二次性小脳性運動失調症 桑原 聡

総説

- 973 進行性多巣性白質脳症（PML）の MRI 画像診断
MRI が捉えた，伸展する脱髄病変の病理 穴戸-原 由紀子，鹿戸将史

症例報告

- 987 MRI で明瞭な信号異常を呈した腕神経叢病変に PET/CT では FDG 集積が軽微であったため，炎症性神経障害との鑑別が困難であった神経リンパ腫症の 1 例 島 智秋，辻野 彰
- 993 経鼻胃管症候群を呈したパーキンソン病の 2 症例 古澤恭平，他

学会印象記

- 999 AANP 2020 — 96th Annual Meeting of the American Association of Neuropathologists 高尾昌樹

書評

- 1003 《ジェネラリスト BOOKS》薬の上手な出し方 & やめ方 評者：平井みどり

- 1004 投稿規定
- 1006 Information for Authors
- 1008 バックナンバーのご案内
- 1009 次号予告
- 1010 あとがき